

4

**自然と共に暮らす
優しいまち**

① 安心で住みよいまち

水害・雪害への対応

2663万円

(担当：建設課土木グループ)

昨年は7月から9月にかけて、大雨による被害が発生しました。特に9月2日からの集中豪雨では、石狩川の増水にともない、町内すべての排水ポンプ場を稼働し、内水の排除を行いました。

また、年度末には融雪水による河川の増水がありました。3月30日から31日にかけて、町内5カ所の普通河川で流れを確保するための雪割作業を行いました。

【豆知識】

大雨で石狩川の水位が上がると、町内の河川に石狩川の水が逆流してくるので、樋門を閉めて止めます。しかし、そのままでは河川の水が抜けず、町中が水浸しになってしまいますので、ポンプを使って強制的に水を石狩川に排出しなければならないのです。



安全安心推進協会の支援 126万円

(担当：住民課住民活動グループ)

町内の交通安全や防犯のために活動する新十津川町安全・安心推進協会へ助成しました。

安全・安心推進協会は、青色回転灯防犯パトロールや各季の交通安全運動に参加し、本町の安心で住みよいまちづくりに貢献しています。



交差点照明の管理 99万円

(担当：住民課住民活動グループ)

夜間の交差点を視認しやすくするために設置している38基の照明のうち、6基で電球交換や柱の修繕を行いました。



秋の避難所体験

1万円

(担当：総務課企画調整グループ)

災害によって自宅が被災したり、避難の指示が出されたときは、不自由な避難所での生活を余儀なくされます。

万が一のときのために、日ごろからどんな準備をしておくべきかを考えるきっかけづくりとして、避難所での生活を模擬体験しました。

【概要】

- ・開催日 10月22日
- ・場所 改善センター
- ・参加者 21人
- ・体験内容 段ボールで避難スペース作り
ペットボトル炊飯体験
簡易ランプ作り
新聞スリッパ作り など



災害救助物資の備蓄

71万円

(担当：総務課企画調整グループ)

災害時に備えて、最低限の生活必需品をゆめりあに備蓄しています。備蓄数量は、100人が1日生活できる量を目安としています。

平成23年度は、東日本大震災で被災した方へ物資を提供したことから、不足分の補充を行いました。

【主な備蓄物資】

- | | |
|---------|-----------|
| ・哺乳ビン | ・カセットコンロ |
| ・育児用ミルク | ・アルファ米 |
| ・紙オムツ | ・みそ汁 |
| ・パンツオムツ | ・缶詰 |
| ・非常用トイレ | ・缶入りカンパン |
| ・毛布 | ・クラッカー など |

② 豊かな生活基盤をつくるまち

道路整備

2億658万円

(担当：建設課土木グループ)

交通網の整備は、産業・経済の交流と振興、そして生活の利便性向上のためには必要不可欠です。

より安全で円滑な交通確保のため、平成20年から実施している町道西2線のほか町道9路線の改修工事を行いました。

また、道路名標識板を大和地区の15カ所に設置し、走行性と安全性を高めました。



【主要工事箇所】

- ①西2線道路改築舗装工事
- ②北7号線舗装改修工事
- ③みどり北通り舗装改修工事
- ④宮前中央線舗装改修工事
- ⑤南13号線舗装改修工事
- ⑥西1線舗装改修工事
- ⑦南7号線舗装改修工事
- ⑧西2線道路舗装工事
- ⑨学総線舗装改修工事
- ⑩東花月袋地乙線道路補修工事
- ⑪道路名標識板設置工事

4

町道の除排雪

1億3639万円

(担当：建設課土木グループ)

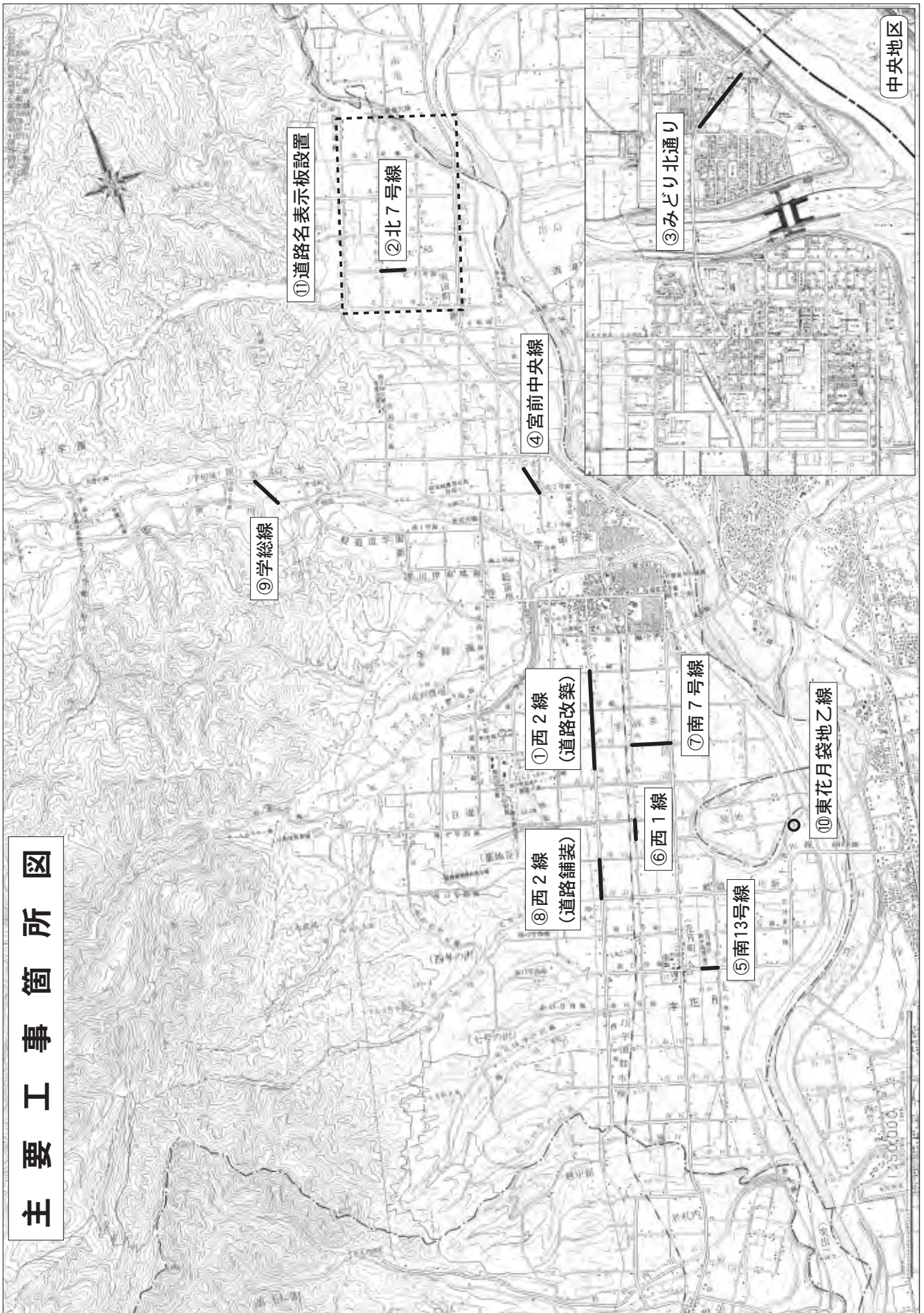
冬期間の快適な生活環境と安全な交通の確保を図るため、町が所有している機械と業者から借り上げた機械を使って、町道252路線、総延長193kmの除排雪を行いました。

平成23年度は、12月末の猛吹雪で交通障害が起きるなど、皆さんの生活に大きな影響が出る大雪となりました。そのため、除雪車の出動回数だけでなく、道幅が狭くなった道路の排雪回数も増え、除排雪費用が大幅に増加しました。



	H19	H20	H21	H22	H23
除排雪費(万円)	8,454	8,389	12,793	7,813	13,639
年間降雪量(cm)	612	640	875	553	812
最大積雪深(cm)	116	95	159	110	150
出動(回)	39	42	44	27	42
排雪*(回)	1	1	2	1	2

※バス路線のみの排雪は含まず



主要工事箇所図

公営住宅の建設 1億3694万円

(担当：建設課都市管理グループ)

平成20年度から進めてきた青葉団地公営住宅の建設が完了しました。

年度	戸数	決算額
H20	2LDK 6 戸・3LDK 6 戸	2億1692万円
H21	3LDK 8 戸	1億4125万円
H22	3LDK 8 戸	1億4805万円
H23	2LDK 4 戸・3LDK 4 戸	1億3694万円
計	2LDK10戸・3LDK26戸	6億4316万円



公営住宅の外部改修 1297万円

(担当：建設課都市管理グループ)

あじさい団地 2 棟 8 戸、中央団地 2 棟 8 戸の公営住宅の適正な維持管理をするため、屋根と外壁の塗装を行いました。

4

地域公共交通の確保 2190万円

(担当：総務課企画調整グループ)

皆さんの生活の足である路線バスを維持するために、町内を運行している中央バス 7 路線のうち 6 路線に対して、運行赤字の一部を助成しました。

また、本町に適した公共交通体系を検討するために、平成21年度から 3 年間の計画でさまざまな実証運行を行っています。平成23年度は、徳富区方面を中心とした乗合タクシーと、中央バス「ふるさと公園線」「上総進線」の路線統合についての実証運行を行いました。

【中央バス運行赤字助成路線】

- ・ 滝川浦白線
- ・ 滝川北竜線
- ・ 花月砂川線
- ・ 総進線
- ・ ふるさと公園線
- ・ 上総進線

(単位：万円)

	H19	H20	H21	H22	H23
赤字	2,840	2,932	3,004	3,084	3,164
助成額	1,679	1,702	1,700	1,856	1,992

合併浄化槽設置費の助成 184万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭からの生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽を設置した方に費用の一部を助成しました。

平成23年度の交付実績は、5人槽 3件、7人槽 2件でした。

【豆知識】

合併処理浄化槽は、し尿や生活排水などの汚水を浄化処理してから放流するための設備です。浄化槽内にいる微生物が汚水中の汚れを食べ、きれいな水にするという仕組みです。

上水道の管理

3038万円

(担当：建設課都市管理グループ)

水道施設などの建設費用の一部負担や、徳富ダムの建設工事費の出資を行いました。

【豆知識】

西空知広域水道企業団は、新十津川町、浦臼町、雨竜町の約4,500世帯に水道水を供給しています。

徳富川から取り入れた水は、浄水場で水道水になります。浄水場では、より安全でおいしい水を作るために、膜ろ過システムという方法で水道水を作り、定期的に水の検査を行っています。浄水場で作られた水は、道路の下にはりめぐらされた水道管を通して、皆さんの家庭や学校などに届けられています。

私たちは、水道の蛇口をひねれば、いつでもきれいな水が出る便利な生活を送っています。でもそれが当たり前すぎて、その大切さを忘れがちになっていませんか？生活になくってはならない水をもっと大切にしましょう。



【新十津川町の状況】

	H21	H22	H23
年間配水量 (m ³)	613,092	594,414	581,242
年間使用量 (m ³)	533,482	528,320	516,712
1日あたり (m ³)	1,462	1,447	1,412
1人あたり (ℓ)	204	206	201

下水道の管理

1億9228万円

(担当：建設課都市管理グループ)

6市4町（芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、美唄市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町）で共同利用している終末処理施設の整備や管理に必要な費用を負担しました。また、過去に下水道整備のためにした借金の返済を行いました。

【豆知識】

下水管は道路の下に埋められていて、汚水（生活排水・し尿）を下水処理場まで運んだり、雨水を川まで運ぶ役目をしています。

新十津川町で出される汚水は、中継ポンプ場を経由して、奈井江町にある終末処理場に集められ、きれいな水に処理されてから、石狩川に流されています。

下水道は私たちが生活していくうえでとても重要な役割を担っています。下水道を快適に使用するため、皆様のご理解とご協力をお願いします。



家庭用生ごみ処理機の助成 39万円

(担当：住民課住民活動グループ)

家庭から排出される生ごみを堆肥化して有効利用し、生ごみの減量化を図るため、処理機器を購入した方に費用の一部を助成しました。

助成実績は、コンポスト容器20件、電気式生ごみ処理機8件です。

【豆知識】

コンポスト容器を使用していないご家庭でも、生ごみ減量の工夫をしましょう。

例えば…

- ①食べ残しを出さないようにエコ・クッキングを心がける。
- ②水分を吸わせないように、野菜のヘタやワタは三角コーナーに入れない。
- ③袋に入れる前に水分を絞る。

生ごみの7～8割は、水分だといわれています。水分を減らして捨てれば、ごみ袋に入る量も増えて経済的です。

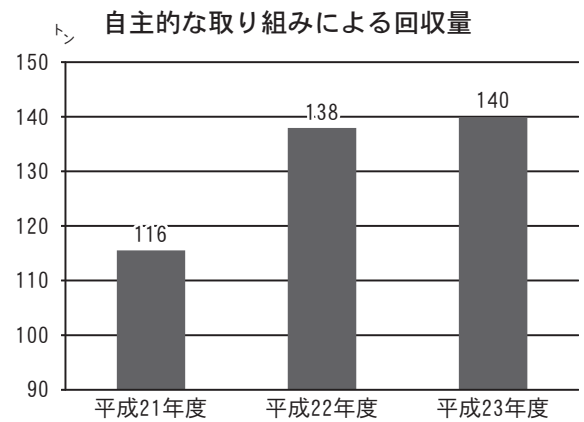
リサイクル活動の奨励 42万円

(担当：住民課住民活動グループ)

資源ごみを自主的に回収している子ども会8団体に対し、回収量に応じて奨励金を支出しました。

【平成23年度の回収量】

- ・新聞紙 82ト
- ・雑誌 26ト
- ・段ボール 25ト
- ・アルミ缶 3ト
- ・紙パック 1ト
- ・スチール缶 3ト



ごみ処理

3964万円

(担当：住民課住民活動グループ)

各家庭から出されたごみを集め処理施設まで運ぶ経費と、指定ごみ袋を作る経費です。

新十津川町環境基本計画では、町民1人が1日に出すごみの量を平成31年度に695グラムにまで減らそうという目標を立てています。平成23年度は、745グラムでしたので、今後ごみ減量に向けて取り組んでいくことが大切です。

町は、ご家庭でできるごみ減量の取り組みなどをお知らせしていきますので、今後も皆さんのご協力をお願いします。

【平成23年度の排出量】

	町全体(ト)	1人1日あたり(グラ)
燃やせるごみ	903	347
燃やせないごみ	108	41
生ごみ	454	174
資源ごみ	399	153
粗大ごみ	78	30
合計	1942	745

